

第41回 東日本学生体操競技グループ選手権大会 要項（案）

主催 関東学生体操連盟
東北・北海道学生体操連盟

主管 関東学生体操連盟
東北・北海道学生体操連盟

後援 全日本学生体操連盟

協賛 未定

1. 期間

令和8年 4月24日（金） 会場セッティング、監督会議、本会場練習
25日（土） 審判会議、競技1日目
26日（日） 競技2日目、会場カッティング

2. 会場（未定）

会場 日環アリーナ栃木 サブアリーナ
所在地 〒321-0152
栃木県宇都宮市西川田4丁1-1
TEL 028-658-5900

3. 参加資格

- (1) (公財) 日本体操協会の会員登録システムから、各大学の所在地の都道府県体操協会に令和8年度の「所属団体・選手登録」（登録受付開始：令和8年3月17日～）を済ませ、その後、全日本学生体操連盟に「所属団体・選手加盟（連盟登録）」（登録受付開始：令和8年4月1日～）を済ませた者。登録・加盟は4月23日（木）までに完了すること。
- (2) 全日本学生体操連盟への「選手加盟（連盟登録）」が4回以下の者で、東日本学生体操連盟（東北・北海道支部、関東支部）に所属する大学（短期大学、専修学校、高等専門学校を含む）の者。
- (3) 第59回東日本学生体操競技選手権大会の参加資格を得ていない大学に限る。

- (4) 第59回東日本学生体操競技選手権大会の参加資格を得ている大学にオープン参加を認める。

※参加規程については別紙でお知らせ

4. 参加人数

- (1) チーム編成について
- ・チーム編成は各大学単位とし、各校1チームとする。
 - ・男女とも、1チームは最大6名（最少5名）とする。
- (2) 個人参加について
- ・男子・・・チームで参加する大学は4名までの個人参加を認める。
 - ・女子・・・チームで参加する大学は5名までの個人参加を認める。
- ＊大会出場選手総数を調整する為、男女チーム出場大学の個人参加については、参加選手数を減らす場合がある。これについては、参加申込み(1次締め切り)後にHPで改めて連絡をする。
- (3) チームを組めない大学は、4名までの個人参加を認める。

5. 補欠について

- (1) 各チームの補欠登録は行わない(6.(2)(3)(4))。なお、補欠として大会期間中に会場に入場できる者(ADが配布される者)は、各チーム2名までとする。
- (2) 個人参加のみの大学は補欠を認めない。
- (3) 補欠選手の練習は、競技前日の所属チーム「本会場練習」でのみ認める。競技当日の「班別本会場練習」は認めない。

6. 選手変更・棄権について

- (1) 選手変更・棄権の申請は、監督会議開始30分前までに所定の用紙(メンバーチェンジ・プログラム訂正用紙)で受付に提出すること。ただし、監督会議後に特別な理由で、大会本部への申請により監督会議終了後も選手変更を認める場合がある。
- (2) チーム出場選手、および、チーム個人選手の変更は、全日本学生体操連盟に加盟した選手であれば認める。
- (3) 競技部報・プログラムに掲載される出場選手は、ID申請用紙に記載された選手名のみとなる。
- (4) 選手のゼッケンについては、チーム6人分の枠、および、チーム個人選手枠のゼッケン番号とし、変更した選手はその枠に与えられたゼッケン番号をつけるものとする。

7. 競技方法について

- (1) 適用規則
- ・FIG競技規則に準ずる。
- <男子>

2025年版採点規則、及び体操競技情報最新号を適用する。

<女子>

2025年版採点規則(変更規則I)、及び体操競技情報最新号を適用する。

(2) 順位の決定

- ・団体総合選手権・・・各種目上位5名の得点の総合点で競う。
- ・個人総合選手権、種目別選手権・・・全種目の総合点で個人総合選手権、各種目の得点で種目別選手権を競う。

※ 0点は棄権ではなく、得点として扱う。

※ 新技申請については、4月24日(金)監督会議30分前までに所定の用紙にて受付に提出すること。

ただし、選手変更による新技申請の場合は、監督会議開始までに受付に提出すること。

※ 表彰、通過に関する順位付け(タイブレーク)は、FIG競技規則2026を適用する。

(3) 班編成

- ・昨年度グループ大会及び東インカレの成績により決定する。

(4) 開始種目

- ・大会本部の抽選により決定する。なお個人選手の演技順は繰り上げにする。

(5) 器具について

- ・男女共、(公財)日本体操協会認定器具を使用する(詳細は競技部報に記載する)。

8. 表彰

- (1) 団体選手権の部・・・優勝杯、賞状1～8位
- (2) 個人総合選手権の部・・・賞状1～8位
- (3) 種目別選手権の部・・・賞状1～8位

9. 帯同審判員派遣について

- (1) 本大会にチーム参加する大学は、男子2名、女子2名の1種もしくは2種審判有資格者の審判員を派遣しなければならない。また、個人出場のみ大学は、3名以上の個人が参加している場合、1名の審判員を派遣しなければならない。なお、その審判に対する費用は全てその大学が負担しなければならない。
- (2) 帯同審判員の1名は学生でもよい。また、男女いずれかがチーム参加する大学に対して、異性の審判員派遣を1名まで認める。
例：男子のみがチームで参加する場合、男子審判員2名の派遣義務が発生する。
その場合、男子審判員1名、女子審判員1名の派遣も可能とする。
- (3) 審判員を派遣できない大学は、1名につき25,000円をもって大会本部に依頼すること。
- (4) (公財)日本体操協会委員を派遣する大学は、予め本部の承認を得なければならない

ない。

- (5) 各大学指導者（部長、監督、コーチ）を帯同審判員として派遣する場合は、「審判員・指導者兼任願い」を大会申し込み1次締め切りの書類と合わせて提出しなければならない。審判員となる指導者は、審判会議以降の大会期間中は所属選手の練習を指導することはできない。
- (6) 審判構成は、その全てを大会本部に一任すること。

10. 補助役員派遣について

- (1) 男女共、本大会にチーム参加する大学は、4名の補助役員を派遣しなければならない。なお、その役員に対する費用は全てその大学が負担しなければならない。
- (2) 補助役員を派遣できない大学は、1名につき7,000円をもって大会本部に依頼すること。

*補助役員が不足した場合は、大会参加選手が交代で補助役員業務を担当する。

その場合、派遣該当大学、担当日時、業務内容等について、後日改めてHPで連絡する。

11. その他

- (1) 競技区域に入れる者は全ての競技において、大会役員、審判員、補助役員、選手、補欠、チームリーダー、コーチ（個人4名以上は2名まで、3名以下は1名）、部長、監督、主務に限る。ただし補欠は監督会議以降アリーナ内には入ることは出来ない。
また部長、監督、主務は競技中の競技区域(競技部報参照)に入ることは出来ない。なお、音楽係のAD保持者は音楽席のみで活動出来る。
また、段違い平行棒コーチ（女子）はチームに1名、個人出場選手には大学ごとに1名とする。
※ ID保持者であってもみだりに競技区域に立ち入ることを禁止する。
- (2) トレーナー申請を希望する大学は、ID申請書にあるトレーナー欄に記入をし、本大会申し込み最終締め切り日までに提出すること。なお、トレーナーは指定された場所のみで活動すること。
※トレーナーの申請人数は男女とも各1名とする。
- (3) 音楽の再生機器は各大学で準備すること。
- (4) セッティング・カッティングは全員参加とする。セッティングに参加した大学のみ本会場練習を出来るものとする。参加出来ない場合は所定の用紙に理由を書いて提出し、許可を得ること。
- (5) 会場の冷暖房については気温状況に応じて使用する。なお、使用する場合には監督会議で報告し、実費を徴収する。
- (6) 大会中の演技の撮影は、撮影ビブス着用者にのみ許可する。なお、初日受付時、各大学に、選手数（男女各最大6枚）+男女1枚ずつ撮影ビブスの配布を行う。（保護者用を含む）。

12. 参加申し込みについて

(1) 参加費 (予定)

1 チーム	60,000円
個人 (1名につき)	10,000円

帯同審判委員依頼費 (1名につき) 25,000円

補助役員依頼費 (1名につき) 7,000円

※「保険料・救護費」については、参加費に含める。

(2) HP上にある所定の用紙に必要事項を記入の上、大会本部にメールにて申し込むこと。

(3) 締め切り期日

1次締め切り (参加申込書) 3月27日 (金)

最終締め切り (参加申込書以外) 4月 3日 (金)

HP 部報掲載予定日 4月10日 (金)

新入生の出場が未確定の場合は、3月27日 (金) までに、下記 (7) の「申し込み・問い合わせ先」まで連絡すること

(4) 参加料は、最終締め切りまでに本部所定の銀行へ必ず大学名 (男女別) で振り込むこと。 振込例：女子の場合→ジョガクレンダイガク

男子の場合→ダンガクレンダイガク

(5) 参加費振込先

三井住友銀行 渋谷支店 店番号654

普通口座番号 9167048

東日本学生体操競技グループ選手権大会

担当者：齋藤 瑚夏

(6) 締め切り期日以降の申し込みは受け付けない。締め切り期日以降の欠場は認めるが、原則として参加費は返金しない。

(7) 本連盟は営利目的の団体でないため、インボイス制度の適格請求書発行事業者登録を行っていない。

(8) 申し込み・問い合わせ先

〒160-0013

東京都新宿区霞ヶ丘町4-2 8階 (公財) 日本体操協会 気付

関東学生体操連盟 第41回グループ選手権大会係

FAX 03-6455-4038

E-mail info@gymgakurenn.noor.jp (問合せ先)

HP <http://kantogakurenn.noor.jp>

担当者 (男子) 飛鳥井 麗王 (女子) 宮崎 栞

13. 第59回東日本学生体操競技選手権大会出場について

本大会は第59回東日本学生体操競技選手権大会（以下、東インカレと記す）の予選を兼ねており下記の通過基準により予選通過チーム、個人を決定する。

今大会期間中、東日本インカレ通過者会議は行わず、通過者の発表は関東学生体操連盟HPにて行う。

なお、この出場資格の確認は、東日本インカレ1次締め切りまでとし、その後の繰り上げは行わない。（以下、グループ大会において個人で出場資格を得た選手を「予選通過個人選手」と記す）。

<男子>

- ・ チーム 団体総合選手権上位7校
- ・ 予選通過個人選手 個人総合選手権上位18名（チーム通過大学以外の大学に所属する選手より）

<女子>

- ・ チーム 団体総合選手権上位4校
- ・ 予選通過個人選手 個人総合選手権上位14名（チーム通過大学以外の大学に所属する選手より）

※ 同じ大学に所属する5名の選手が予選通過個人選手となった場合、当該選手所属大学の本大会へのチーム出場を認める。但し、これによる予選通過個人選手の繰り上げはしない。

※ チーム通過校が規定数より少なかった場合、1チームにつき予選通過個人選手を5名（5枠）増やすこととする。

14. 第59回東日本学生体操競技選手権大会の参加申込について

今大会期間中、東日本インカレ通過者会議は行わず、通過者の発表は関東学生体操連盟HPにて行う。

各申請書類は以下の締め切りまでにメールにて提出すること。

1次締め切り（参加申込書）・・・・・・・・・・5月7日（木）

最終締め切り（参加申込書以外）・・・・・・・・・・5月14日（木）

HP 部報掲載予定日・・・・・・・・・・5月18日（月）

東日本インカレの出場を辞退する場合は1次締切までに必ず本部へ連絡すること。

また、1次締切までに参加申込書の提出が無かった場合、辞退とみなし、繰り上げを行う。辞退の申し出は1次締切までとし、これ以降は棄権とみなし、繰り上げは行わない。繰り上げの対象となった場合、本部より当該大学へ連絡するため、2次締切までに参加申込書及びその他の書類を提出すること。

参加費等については、グループ大会終了2日後（4月28日）までに所定の口座に振り込めるよう準備しておくこと。